



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月12日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東
コード番号 5210 URL <https://www.yamamura.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 幸治
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 金原 正晃 TEL 06-4300-6000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	57,581	3.3	3,347	△29.7	3,808	△43.2	2,766	△77.8
2024年3月期第3四半期	55,755	7.7	4,761	875.9	6,706	—	12,490	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,358百万円 (△77.7%) 2024年3月期第3四半期 15,060百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	270.96	—
2024年3月期第3四半期	1,223.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	92,212	54,011	58.5
2024年3月期	94,144	51,593	54.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 53,929百万円 2024年3月期 51,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2025年3月期	—	30.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	85.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（2025年2月12日）公表いたしました「2025年3月期 期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	1.5	2,900	△34.9	3,100	△48.8	2,300	△81.2	225.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有
除外 1社 (社名) 台湾山村光學股份有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	11,145,249株	2024年3月期	11,145,249株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	935,004株	2024年3月期	934,022株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	10,210,966株	2024年3月期3Q	10,211,660株

(注) 2025年3月期3Qの期末自己株式数および期中平均株式数 (四半期累計) の計算において控除する自己株式数には、株式付与E S O P信託が保有する当社株式が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等により景気は緩やかに回復しました。一方で、物価上昇や欧米における高い金利水準の継続、国際情勢の動向等、下振れ懸念があり依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは3ヵ年の中期経営計画の2年目を迎えました。これからも様々な課題に長期的に挑戦していく事業基盤が肝要であるとの思いをこめて中期経営計画は「成長に向けた事業基盤の整備」をテーマとし、「財務基盤の整備」「既存事業を強化する仕組みづくり」「新しい事業を構築する準備」「循環型社会の実現に向けた開発」「従業員が誇りを持って働き続けたいと思える会社づくり」という5つの経営方針を推進し、グループ一体となって業績向上に取り組んでおります。

事業セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、国内ガラスびん業界の出荷量は前年同期比93.3%となり、当社の出荷量も減少しましたが、タイの子会社の売上増加等により、セグメント売上高は37,526百万円（前年同期比2.6%増）と増収となりました。セグメント利益は、当社における出荷量・生産量の減少、燃料・動力価格の高騰および労務費等の増加により、2,181百万円（前年同期比43.2%減）と減益となりました。

② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、国内における飲料用キャップの出荷の増加や中国の子会社の販売が好調なことに加え、当社における前期の価格改定による飲料用キャップの販売単価の上昇等により、セグメント売上高は6,392百万円（前年同期比10.4%増）と増収となりました。セグメント利益は、原料費や物流の2024年問題による運搬費等の増加がありましたが、飲料用キャップの販売増に伴う生産量の増加や販売単価の上昇等により、528百万円（前年同期比32.0%増）と増益となりました。

③ 物流関連事業

物流関連事業では、新規営業所開設等による取扱い物量の増加があり、セグメント売上高は11,216百万円（前年同期比0.4%増）と増収となりました。セグメント利益は、作業生産性の向上等による損益改善により、640百万円（前年同期比17.6%増）と増益となりました。

④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、当社における電子部品用ガラスの出荷が堅調に推移し、国内子会社における光通信用キャップ部品の出荷の増加もあり、セグメント売上高は2,307百万円（前年同期比10.4%増）と増収となりました。セグメント利益は、国内子会社における出荷や生産量の増加、コスト削減等の損益改善により、153百万円（前年同期は△53百万円の損失）と黒字となりました。

その他事業では植物事業を含み、セグメント売上高は139百万円（前年同期比21.8%増）、セグメント利益は△53百万円の損失（前年同期は△67百万円の損失）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は57,581百万円（前年同期比3.3%増）と増収となりましたが、連結営業利益は3,347百万円（前年同期比29.7%減）と減益となりました。前年同期は米国の関連会社からの貸付金が全額返済されたこと等により、持分法による投資利益1,418百万円を計上しましたが、当期はそのような特殊要因がなく、持分法による投資利益は434百万円（前年同期比69.4%減）となり、連結経常利益は3,808百万円（前年同期比43.2%減）と減益となりました。さらに前年同期に計上した固定資産売却益や関係会社出資金売却益等の特殊要因がなく特別利益が減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,766百万円（前年同期比77.8%減）と減益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,932百万円減少し、92,212百万円となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が548百万円、為替換算調整勘定の影響等により関係会社株式が522百万円増加したものの、現金及び預金が3,431百万円減少したこと等が主な要因です。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,350百万円減少し、38,200百万円となりました。これは、設備未払金の支払が進んだこと等によりその他流動負債が1,210百万円、有利子負債が2,539百万円減少したこと等が主な要因です。

純資産については、前連結会計年度末に比べ2,418百万円増加し、54,011百万円となりました。これは、利益剰余金が1,932百万円、その他有価証券評価差額金が285百万円増加したこと等が主な要因です。自己資本比率は3.9ポイント上昇して58.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期における通期の業績予想につきましては、2024年11月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,990	7,559
受取手形、売掛金及び契約資産	20,787	21,335
商品及び製品	6,954	6,862
仕掛品	266	415
原材料及び貯蔵品	1,608	1,866
その他	1,105	881
貸倒引当金	△3	△29
流動資産合計	41,709	38,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,673	5,405
機械装置及び運搬具（純額）	8,870	9,085
工具、器具及び備品（純額）	1,024	926
土地	10,415	10,415
建設仮勘定	143	489
有形固定資産合計	26,126	26,322
無形固定資産		
その他	185	333
無形固定資産合計	185	333
投資その他の資産		
投資有価証券	2,685	3,049
関係会社株式	20,698	21,220
退職給付に係る資産	913	854
繰延税金資産	421	115
その他	1,675	1,671
貸倒引当金	△270	△245
投資その他の資産合計	26,123	26,665
固定資産合計	52,435	53,321
資産合計	94,144	92,212

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,281	8,127
短期借入金	5,659	5,089
未払法人税等	708	408
賞与引当金	867	350
役員賞与引当金	44	43
その他	6,275	5,064
流動負債合計	21,836	19,083
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	15,725	14,001
リース債務	485	574
退職給付に係る負債	2,703	2,694
繰延税金負債	11	302
その他	787	544
固定負債合計	20,714	19,117
負債合計	42,551	38,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,625	16,592
利益剰余金	20,549	22,481
自己株式	△1,566	△1,550
株主資本合計	49,683	51,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	960	1,245
繰延ヘッジ損益	76	95
為替換算調整勘定	844	1,110
退職給付に係る調整累計額	△134	△121
その他の包括利益累計額合計	1,746	2,330
非支配株主持分	163	82
純資産合計	51,593	54,011
負債純資産合計	94,144	92,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	55,755	57,581
売上原価	43,224	46,148
売上総利益	12,530	11,433
販売費及び一般管理費	7,769	8,086
営業利益	4,761	3,347
営業外収益		
受取利息	20	12
受取配当金	503	52
持分法による投資利益	1,418	434
その他	385	283
営業外収益合計	2,327	782
営業外費用		
支払利息	180	153
租税公課	70	64
その他	131	102
営業外費用合計	382	320
経常利益	6,706	3,808
特別利益		
固定資産売却益	5,587	3
投資有価証券売却益	1	128
関係会社清算益	—	57
関係会社出資金売却益	2,101	—
持分変動利益	664	—
受取補償金	79	—
特別利益合計	8,434	189
特別損失		
固定資産売却損	3	—
固定資産廃棄損	4	39
支払補償金	—	112
事業構造改善費用	128	—
特別損失合計	136	152
税金等調整前四半期純利益	15,004	3,845
法人税、住民税及び事業税	787	549
法人税等調整額	1,705	501
法人税等合計	2,492	1,050
四半期純利益	12,512	2,794
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,490	2,766

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	12,512	2,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	341	285
繰延ヘッジ損益	37	19
為替換算調整勘定	181	△4
退職給付に係る調整額	△2	△45
持分法適用会社に対する持分相当額	1,990	308
その他の包括利益合計	2,547	564
四半期包括利益	15,060	3,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,034	3,351
非支配株主に係る四半期包括利益	25	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	36,591	5,792	10,396	2,089	54,870	114	54,984	—	54,984
その他の収益	—	—	771	—	771	—	771	—	771
外部顧客への売上高	36,591	5,792	11,168	2,089	55,641	114	55,755	—	55,755
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	326	6,565	7	6,899	0	6,899	△6,899	—
計	36,592	6,118	17,733	2,096	62,540	114	62,655	△6,899	55,755
セグメント利益 又は損失(△)	3,838	400	544	△53	4,730	△67	4,662	98	4,761

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、植物事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額98百万円には、セグメント間取引消去等75百万円、その他の調整23百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	37,526	6,392	10,657	2,307	56,882	139	57,022	—	57,022
その他の収益	—	—	559	—	559	—	559	—	559
外部顧客への売上高	37,526	6,392	11,216	2,307	57,442	139	57,581	—	57,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	289	6,477	7	6,794	0	6,795	△6,795	—
計	37,547	6,681	17,694	2,314	64,237	139	64,376	△6,795	57,581
セグメント利益 又は損失(△)	2,181	528	640	153	3,503	△53	3,449	△102	3,347

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、植物事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△102百万円には、セグメント間取引消去等111百万円、その他の調整△214百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却額を含む。)は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,603百万円	2,835百万円